

2023 海域港湾空港技術報告会 in 福岡

(地盤工学会 CPD プログラム認定)

海域・港湾・空港を取り巻く様々な課題解決に向けて、近年、民間企業、大学、国など産官学の協働による技術開発が全国各地で活発に行われています。本報告会は全国的に高い評価を得ている最先端の技術開発の現状や九州・下関地区で取り組まれている最新の技術情報等を関係者間で広くかつタイムリーに共有することで、課題解決に向けた技術開発の促進に寄与することを目的として開催するものです。多数の皆様のご参加をお待ちしております。



日時 2023年2月28日(火) 13:00~17:30

(CPD 交付方法は閉会後にご案内します。)

開催方法 会場とWEB (Microsoft Teams) によるハイブリッド方式

会場：TKP 博多新幹線口 5F プレミアムホール (定員 160 名)

(福岡市博多区博多駅中央街 5-14 福さ屋本社ビル) 受付開始：12 時 20 分～

主催：九州地方整備局港湾空港部、九州大学大学院工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門

共催：(公社) 地盤工学会九州支部、九州大学学術研究・産学官連携本部、(一財) 沿岸技術研究センター、(一財) 港湾空港総合技術センター、特定非営利活動法人研究機構ジオセーフ、博多港ふ頭株式会社、(一社) 日本埋立浚渫協会、(一社) 港湾技術コンサルタンツ協会、九州港湾空港建設協会連合会

問い合わせ先

国土交通省九州地方整備局港湾空港部 海洋環境・技術課 (担当：橋本、近藤、森山)
TEL 092(418)3380

2023 海域港湾空港技術報告会 in 福岡 プログラム

開会式 13:00 ~ 13:10 <司会> 山口 隼人 (九州地方整備局 港湾空港部 港湾空港企画官)

- ◆ 開会あいさつ 杉中 洋一 (九州地方整備局 副局長)
- ◆ 開催趣旨説明 濱田 秀則 (九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門 教授)

第I部 13:10 ~ 13:45 全国の先進的土木技術の紹介

- ◆ AIを用いた栈橋の残存耐力評価技術

令和3年度日本港湾協会論文賞, 令和4年度国土技術開発賞優秀賞 受賞

宇野 州彦 (五洋建設株式会社 技術研究所 土木技術開発部 課長)

~ 質疑応答 ~

第II部 13:45 ~ 14:55 注目度の高いの技術的取り組みの紹介

- ◆ 沿岸域コンクリート構造物のライフサイクルを考える

横田 弘 (北海道大学 名誉教授, 一般財団法人 沿岸技術研究センター 参与)

~ 質疑応答 ~

- ◆ 沿岸波浪の方向スペクトルの観測・解析とその意義

橋本 典明 (九州大学 名誉教授, 一般財団法人 沿岸技術研究センター 参与)

~ 質疑応答 ~

~ 休憩 ~

第III部 15:10 ~ 17:20 産官学の技術展望

<司会> 杉村 佳寿 (九州大学大学院 工学研究院 海域港湾環境防災共同研究部門 教授)

- ◆ DXコンテナターミナルの展望について

篠田 岳思 (九州大学大学院 工学研究院 海洋システム工学部門 教授)

- ◆ エコ・コンテナターミナル実現を目指した荷役機器の技術開発実験~博多港コンテナターミナルの取組み~

後藤 篤 (博多港ふ頭株式会社 常務取締役)

- ◆ 流木漂流予測シミュレーションモデルの開発に向けた取組み

井手 喜彦 (九州大学大学院 工学研究院 附属アジア防災研究センター 沿岸海洋工学研究室 助教)

- ◆ 点検における水中ドローンの活用事例と活用を広めるための課題 一般社団法人港湾技術コンサルツ協会 推薦

森本 睦 (株式会社ニュージェック 港湾海岸グループ チームマネージャー)

~ 質疑応答 ~

~ 休憩 ~ (以下, 16:25より再開)

- ◆ 港湾構造物におけるi-Constructionの展開 九州大学大学院 工学研究院 濱田 秀則 教授 との共同研究

坂井 義彰 (株式会社ヤマウ 技術本部 開発部 開発グループ)

- ◆ 重力式岸壁の増深改良技術について

松尾 康成 (九州地方整備局 下関港湾空港技術調査事務所 技術開発課 課長)

- ◆ 杭の短縮化を実現するテーパ杭技術の紹介 一般社団法人日本埋立浚渫協会 推薦

新谷 聡 (りんかい日産建設株式会社 土木本部 技術部 技術課長)

~ 質疑応答 ~

閉会式 17:20 ~ 17:25

- ◆ 閉会あいさつ 江頭 和彦 (NPO 法人研究機構ジオセーフ 監事)